# Azia'n Transfer /FTPC入門 FTPクライアント制御機能



# IMAGICAシステムランド

# 目 次

1	Azi	a'n Transfer/FTPC(クライアント)に触れる前に	4
	1.1 Az	ia'n Transfer/FTPC(クライアント)とは?	4
	1.2 Az	ia'n Transfer/FTPC の構成	4
	1.3 Az	ia'n Tranafer/FTPC の特徴	5
	1.3.1	ホストコンピュータ側業務とパソコン側業務との仲立	5
	1.3.2	機種の壁を越えた共通性	5
	1.3.3	基本操作の統一	5
	1.3.4	Azia'n Transfer と Azia'n Transfer/FTP の違い	6
2	環境	記定	7
	2.1	ACOS 側で相手 FTP サーバー動作端末環境を登録する	7
	2.1.1	加入者情報メンテナンス画面を表示する	7
	2.1.2	加入者情報メンテナンス画面からFTPサーバ端末を登録する	8
	$\odot$	FTP サーバ動作端末登録をもっと簡単に!	9
	2.1.3	送受信端末情報メンテナンス画面を表示する	10
	2.1.4	送受信端末情報メンテナンス画面から FTP サーバ動作端末の情報を登録する	10
	2.1.5	端末情報メンテナンス(拡張情報)画面を表示する	11
	2.1.6	端末情報メンテナンス(拡張情報)画面から FTP サーバ端末情報を登録する	11
	$\odot$	属性情報 (FTP サーバ端末のディレクトリ認識スタイル定義)	12
	$\odot$	オプション情報(FTP サーバ ログイン操作の FTP コマンド記述)	13
	$\odot$	Windows95 上での FTP サーバー機能とは	15
3	基本	≤操作	16
	3.1	VISオンライン指示による Azia'n Transfer/FTP 受信	16
	3.1.1	A C O S の業務データを Azia'n Transfer へ登録する	17
	3.1.2	Azia'n Transfer/FTP を使ってテキストデータをパソコンに受信する	18
	3.1.3	テキストデータ受信中の画面とその確認	19
	3.1.4	受信した情報を表計算ソフトで開く	19
	3.2	VISオンライン指示による Azia'n Transfer/FTP 送信	20
	3.2.1	表計算ソフトで作成されたデータをテキスト形式で保存する	20
	3.2.2	テキストデータを Azia'n Transfer/FTP を使ってACOSに送信する	21
	3.2.3	テキストデータ送信中の画面とその確認	22
	3.2.4	ACOSに送信・格納されたデータを取り出し業務で利用する	23
	3.3	バッチ指示による Azia'n Transfer/FTP 受信	24
	3.3.1	バッチ処理からから Azia'n Transfer/FTP 転送指示と受信を行う	24
	3.4	バッチ指示による Azia'n Transfer/FTP 送信	25
	3.4.1	バッチ処理から Azia'n Transfer/FTP 転送指示と送信を行う	25

4	最後に	27
---	-----	----

## 1.1 Azia'n Transfer/FTPC(クライアント)とは?

1

「Azia'n Transfer/for FTP」は「Azia'n Transfer」の持つ柔軟な転送機能や転送データ管 理機能をそのまま生かしつつ、転送プロトコルとしてFTPを利用可能にする追加サブシステ ムです。

本サブシステムは、「Azia'n Transfer」をUXNET- を利用して機能強化する「Azia'n Socks」と呼ばれる製品体系の中の1コンポーネントとして提供されます。

本サブシステムを利用することにより従来のETOS端末に対する場合と同等の、運用性及 び耐更性に優れたインターフェースでACOS側FTPクライアントによるファイル転送を 実現することが可能になります。

## 1.2 Azia'n Transfer/FTPCの構成

Azia'n Transfer/FTPCが動く環境として、基本的なハードウエアの構成を示します



#### 1.3 Azia'n Tranafer/FTPCの特徴

Azia'n Transfer/FTPCの特徴はいろいろあります。その中からいくつか挙げてみましょう。

1.3.1 ホストコンピュータ側業務とパソコン側業務との仲立

現在お持ちのホストコンピュータの情報をパソコン側に渡したり、パソコンで持つ情報をホ ストコンピュータに渡したりする場合に、引き渡し側主導による受け取り側ホストコンピュー タ業務またはパソコン業務へ、連携処理の仲立をしてくれます。

例えばホストコンピュータ側からサーバーヘデータを受信要求するだけでサーバー側の業 務を自動起動することができます(注1)。また、その逆にサーバー側の業務で作成されたデ ータを作成完了と同時に送信要求し、ホストコンピュータ側ではその送信完了を待ってホスト 業務処理を起動することができます(注2)。

> 注1 サーパー業務処理起動はEazyManager/Accepterの機能です。 注2 叔ト業務処理起動はAzia'n Transferの機能です。

1.3.2 機種の壁を越えた共通性

現在、様々なメーカーからパソコンが発売されています。しかし、Azia'n Transfer/FTPCは 原則としてどのメーカーのパソコンでもFTPサーバが動いているパソコン,サーバーなら、使う ことができます。例えば、今まで利用していたやDOS,DOS/V,UNIX,Express,OP-X,・・等々でも パソコンと同じ操作方法で同じ情報交換のサービスが受けられます。また、情報系端末の持つ 情報(例えばLANPLANで作成した表データ)をパソコンのEXCELやLOTUS1-2-3でも利用したい場 合にもACOSをゲートウェイとして、簡単に情報交換ができます。(注:情報系の端末 (N5200,S3100など)の場合にはAzia'n Transfer/ETOS機能を利用します。)



1.3.3 基本操作の統一

どのパソコン・端末でも、基本的な操作の方法が統一されています。例えば「PC98」と「N5200」 は異なるコンピュータですが、共通してVISのTPP又はFTPクライアントをエンジンに しているためメニューの表示やマウスの使い方等、基本的な操作の方法は同じです。はじめて 使うコンピュータでもある程度操作方法を予測することができます。また、画面がビジュアル にできているので直感的で、かつ試行錯誤しながら操作することができます。新たにFTPの 知識が要求されることはありません。 1.3.4 Azia'n TransferとAzia'n Transfer/FTPの違い

これまでご説明したAzia'n Transfer/FTPですが「Azia'n TransferとAzia'n Transfer/FTPは どこが違うの?」と思われるでしょう。実のところ操作性はほとんど変わりません。ですが Azia'n Transferでは通信媒介をETOSエミュレータとしているのに対し、Azia'n Transfer/FTP はACOSのFTPクライアント機能を利用している点にあります。

それではこれにより何が出来るのか。以下にいくつかあげてみましょう。

ETOSエミュレータでの転送速度に比べ数十倍の高速転送パフォーマンスを得ることができます。

操作性の困難なFTPクライアントのオペレーション操作を一切必要とせず、全てAzia'n Transfer/ETOS機能の運用と変わらない運用方法で利用できます。

VIS業務が停止している間でも転送することができる様になります。

オンライン端末登録(ADL,NDL,TNDL,VDLなど)の必要がないため、導入直後からこのサービスを利用できます。(既にインフラが整っていることが前提です。)

このようにAzia'n Transferの弱点をカバーし、これまでのAzia'n Transferの運用と変わらな いサービスをご提供することができるようになりました。

Azia'n Transfer/FTP (FTPクライアント機能)はLANプロセッサを有するお客様のみご利用 頂けます。

# 2 環境設定

Azia'n Transfer/FTPC では、ご利用頂く前にホスト側で相手の FTP サーバに対する幾つかの環境設定が必要となります。ここでは Azia'n Transfer/FTPC と基本的に管理が同じである WindowsNT Ver4.0 及び Windows95 を例に取りご説明致します。

尚、相手の FTP サーバはこれ以外にも UNIX,別ホスト,...等様々な相手が考えられます。FTP に関するサポートが必要な場合には弊社担当 SE までご連絡下さい。

## 2.1 ACOS **側で相手**FTP**サーバー動作端末環境を登録する**

#### 2.1.1 加入者情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」から加入者情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号 ==>」にカーソルを合わせて"70"を入力し実行キーを押すと「加入者情報メンテナンス画面」が 表示されます。

🔄 ETOS-JX(acos4)
送信(T) セッション(S) ファイル転送(E) 簡易操作(K) 編集(E) 表示(D)
マクロ(M) オブション(2) ヘルプ(H)
AZ10A0 加入者情報 メンテナンス 頁No. 97-03-21 13:31:39
=> ▋ □○表示 R [加大考cp]·読袂 1 [頁Ma]·改頁 W [加大考cp]·考袂 D·削除
Image: Provide and the second seco
加大者5
加入者為称[
チェック区分 P:利用者アクセス権 T:端末アクセス権 B:双方 N:チェック無し)
Y90X権ID (所属対象端末に適用されるY90X権ID)
●所属送受信用端末情報
Na 端末ID S
●所属プリンダ端末情報 フリンタ端末情報 フリンタ
Νά 7°999πD   S
=→(共有指定 *:共有/ ソンシ)
R 入力可 TCP/IP
ETOS-JX Ver2.0 (05,01)

2.1.2 加入者情報メンテナンス画面からFTPサーバ端末を登録する

既に存在する加入者に対してFTPサーバ動作端末を登録する場合には対象となる加入者を呼び出します。次に所属送受信用端末欄にFTPサーバ動作端末を入力後、「=>」の位置で"W"を入力して実行を押下します。新たに加入者情報を登録する場合には加入者名称、所属送受信用端末情報(FTPサーバ動作端末)、端末種別既定値("PFS"or"UFS")、を入力の後、「=>」の位置で"W 加入者コード"を入力して実行を押します。いずれも画面下に「加入者情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。



ここでは既に存在する"KAIKATSU2"という加入者に対して"NTSVR1"という名前でFTPサーバ端 末を新たに登録しています。尚、 FTPサーバ動作端末の端末IDは何でも構いませんがVISで 定義されている端末IDと重複しない名前で登録することをお勧めします。 **POINT** <加入者情報メンテナンス画面>

☺ FTP サーバ動作端末登録をもっと簡単に!

通常 Azia'n Transfer 本体のオンライン端末登録では、この「加入者情報メンテナンス」画面から登録するだけで十分です。しかし FTP サーバ端末の登録など、より細かな設定が必要な端末の場合に、いちいちメインメニューまで戻り「送受信端末情報メンテナンス」画面を表示してメンテナンスをしなければなりません。

「加入者情報メンテナンス」画面ではより効率よく運用して頂くために、加入者情報メンテ ナンス画面から端末の登録を行った後、この画面から直接「送受信端末情報メンテナンス」画 面とその内容を表示することができます。

「=>」の位置で"3"を入力し、カーソルをメンテナンスしたい端末に合わせて実行キーを押下することにより「送受信端末情報メンテナンス」画面と内容をを直接呼び出すことができます。

尚、呼び出した「送受信端末情報メンテナンス」画面では「=>」の位置で"8"を入力し実行 キーを押すことにより元の「加入者情報メンテナンス」画面に戻ります。 2.1.3 送受信端末情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」から送受信端末情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて"71"を入力し実行キーを押すと「送受信端末情報メンテナンス画面」が表示されます。 当画面から新規登録した場合には加入者情報との関連付けをする必要があります。加入者情報メンテナンス画面から修正して下さい。

🔄 ETOS-JX(acos4)	_ 🗆 🗡
送信(T) セッション(S) ファイル転送(E) 簡易操作(K) 編集(E) 表示(D)	
マクロ(M) オプション(Q) ヘルプ(H)	
AZ10AO 送受信用端末情報 メンテナンス 頁Na 97-03-21	12:04:44
	n·肖IR全日
F:次社位置付け 3:詳細情報 7:操作説明 8:前画面	9:終了
端末状態	
│ 基本所属加入者:	
端末TYPE    (N52: PTOS, NTOS, AVX-5等 P*: PC98等)    フカトン 接てた    (N52: PTOS, NTOS, AVX-5等 P*: PC98等)	、
パルが催却	り 服で优素)
殊体理記で「「」(L.市に理記(FOC93),市に理記(FOCC99)*.////目    趙伏磁調がN <sup>3</sup> //	FIXY~ (2(1 <del>1</del> 7)
配信aP識別   (使用する配信aPIDの3桁目)	
●制御可能ブリンタ」(省略すると基本所属加入者に所属するブリンタ群が制御可能	9
Να 7*Υνξαρ   Να 7*Υνξαρ   Να 7*Υνξαρ   Να 7*Υνξαρ   Να 7*Υνξαρ   Να 7*Υνξαρ	
	- 1
●受新送受信時の端末操作促進減%%。 ●受新送受信時の端末操作促進減%%。	
■ 表示いい □ 01: 送信しない E: 隨害 かわがのみ送信 A: 全て送信)	
表示先区分 □ B:要求元又は下記の端末に送信 C:下記の端末のいずれかに	:送信)
表示先端末① ② ③ ③	
R 入刀可 1097011	
ETOS-JX Ver2.0 (05,01)	

2.1.4 送受信端末情報メンテナンス画面からFTPサーバ動作端末の情報を登録する

端末 ID,端末 TYPE,配信 AP 識別を入力の後、「=>」の位置で"W 端末 ID"を入力して実行 を押します。画面下に「端末情報メンテナンスを行いました。」というメッセージが表示され れば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修 正して下さい。尚、加入者情報メンテナンス画面から詳細情報指示により当画面を表示した場 合には更新となります。端末 TYPE,配信 AP 識別を修正して下さい。

🔄 ETOS-JX(acos4)	
送信(T) セッション(S) ファイル転送(E) 簡易操作(K) 編集(E) 表示(D)	
マクロ(M) オブション(Q) ヘルブ(H)	
AZ10AO* 送受信用端末情報 メンテナンス 頁Na 1 97-03-27 11:56:05	
F:次社位置付け 3:詳細情報 7:操作説明 8:前画面 9:終了	
端末ID : NTSVR1	
	FIPTIN「峏木裡別既正個
磁本///周/////////////////////////////////	USF UNIX 系端末
77セス権ID (省略時は所属加入者の持つ77セス権IDとみなされる)	
媒体確認モト、 * (2:常に確認待ちとする N:常に確認待ちとせず *:ファイル情報に依存)	PSF:その他(PC)端末
媒体確認が))13/45678 記(きょを)第21 ((市田)オン 配(きょをすかった日)	
●制御可能プリンタ (省略すると基本所属加入者に所属するプリンタ群が制御可能)	
ΙΝα 7°92ξΩΣΤΟ ΙΝΑ 7°92ξΩΣΤΟ Να 7°92ξΩΣΤΟ Να 7°92ξΩΣΤΟ Να 7°92ξΩΣΤΟ ΝΑ 7°92ξΩΣΤΟ Ι	
=?印:基本所属加入者の管理対象でないプリンタに表示	
●受動送受信時の端末操作促進メッセージ表示情報	
表示レベル	
R 入力可 ICF/IF	
ETOS-JX Ver2.0	

2.1.5 端末情報メンテナンス(拡張情報)画面を表示する

FTP サーバ端末情報を登録する場合、通常のオンライン端末定義手順の他に「端末情報メン テナンス(拡張情報)」画面から各種詳細情報を登録する必要があります。

送受信端末情報メンテナンス画面から端末情報メンテナンス(拡張情報)画面を表示してみ ましょう。「送受信端末情報メンテナンス」画面から先程登録した内容を表示して下さい。次 に内容がが表示されている状態から キーを押すと端末情報メンテナンス(拡張情報)画面が 表示されます。

📲 ETOS-UX (accs4)	🔄 ETOS-JX(acos4)
送信田 コンマン ファイル教送回 簡易情作的 編集日 表示回	送信(T) セッション(S) ファイル転送(E) 簡易操作(K) 編集(E) 表示(D)
マクロ(10) オプション(2) ヘルプ(19)	マクロ(M) オブション(Q) ヘルプ(H)
AILGAON 送受信用城市情報 メンテナンス 百0% L 97-04-08 17:52:39 =>	AZ10AO* 端末情報 メンテナンス(拡張情報) 97-03-27 18:11:07 => ■
[0:表示 8.[境末10]:読込 1.[頁16]:改頁 Y.[読末10]:書込 0:訓練 7.265.25年付け 2.55525558 2.5595558 0.557	□[0:表示 R:読込 F:次社位置付け W:書达 7:操作説明 9:終了] #### T D ・ NTSUR1
	10.7.1.2     ・ MIOTAL       端末状態     ・ MIOTAL       端末状態     ・ MIOTAL       基本所属加入者:     XXIXATSU2     Azie'n Trensferrent       加入者宛要求     「(T, N)     長大いント・長     (4095)       方と沙尔(ジ)?     うたいかくごか?     「(T, N)       開始時報節情報     総アが時報節情報     総アが時報節情報       アド設定位置     [(T, R)     同期の設定       ド((T, N))     第((T, N))       キッ情報@     ・ ((T, N))       オンウジロン     ・ ((T, N))       キッ情報@     ・ ((T, N))
R 大力可 manual	R 入力可 TCP/IP
ET05-JX Ver2.0 (05,01)	ETOS-JX Ver2.0  005,01)  //

キー押下

2.1.6 端末情報メンテナンス(拡張情報)画面からFTPサーバ端末情報を登録する
 属性情報 ,オプション情報を入力の後、「=>」の位置で"\\"を入力して実行を押します。画
 面下に「端末情報メンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は
 正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正して下さい。

■ ETOS-JX(acos4) 送信(T) セッション(S) ファイル転送(E) 簡易 マクロ(M) オブション(Q) ヘルブ(H) AZ10A0* 端末情報 メンテナンス(拡張情報) => ** ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	▲□□× 操作(L) 編集(L) 表示(L) 97-03-27 18:19:35 W:書込 7.操作説明 9:終了	属性情報 : MS-DOS UNIX
	n Transferデモ加入者 属性情報③ 送信プレロク長 たェックタイミングG 終了かセッジ区分 * 1024 たェックないうG 終了かしすジビ分 * 102, N, E, *) 終了時制御情報 同期に設定 N (Y, N) キ ~ 情報②	オプション情報 FTPコマンドを記述する
オプション情報版 <u>DPEN 157.119.137.10</u> <u>USER ACOS4 ACOS4</u> 		
R 入力可 ICP/IE ETOS-JX Ver20	06,01)	

**POINT** <端末情報メンテナンス(拡張情報)画面 - 属性情報 ->

☺ 属性情報 (FTP サーバ端末のディレクトリ認識スタイル定義)

冒頭で Azia'n Transfer/FTP を利用する場合には特別な知識は必要ありませんと述べました。

しかしながら、システムセットアップ時にはわずかですが接続するために必要最低限の情報 登録が必要となります。

これは FTP サーバの初期設定時のみ必要となる作業ですので、システムを管理される方は FTP サーバの登録(ホスト識別名又はホスト IP アドレス),接続ユーザ認証(ユーザID,ユーザパスワード),ディレク トリ認識スタイル,など、TCP/IP プロトコルを使って FTP 機能の利用する場合の必要上条件で あることをご理解下さい。

Azia'n Transfer/FTP ではこの FTP サーバのディレクトリ認識スタイルを端末情報メンテナンス(拡張情報)画面の属性情報 欄の1桁目に登録します。

それでは次に相手 FTP サーバで利用されているディレクトリ認識スタイルとその意味を述べてみましょう。

- ディレクトリの認識スタイル指定 -

DOS的に管理されている場合

" <u>:</u> " … コロンを設定します。

FTP サーバの環境設定にもよりますがWindowsNT3.51 の場合にはこれに該当します。 実際のパス ... " C : / "

#### UNIX的に管理されている場合

" \_\_ " … スペースを設定します。 FTP サーバの環境設定にもよりますが WindowsNT4.0, unix の場合にはこれに該当します。 実際のパス … " / C : / "

#### その他の場合

"N"… Nを設定します。

FTP サーバの環境設定にもよりますがルートディレクトリ配下を利用する場合にはこれに該当 します。

実際のパス ... "/"

**POINT** <端末情報メンテナンス(拡張情報)画面 - オプション情報 - >

☺ オプション情報(FTP サーバ ログイン操作の FTP コマンド記述)

属性情報 に続いて Azia'n Transfer/FTP では相手 FTP サーバに対する FTP ログインコマンドを端末情報メンテナンス(拡張情報)画面のオプション情報欄に予め登録します。登録して頂くコマンドは FTP サーバーへのログインコマンドのみです。

ここで登録された FTP コマンドを使って Azia'n Transfer/FTP では相手 FTP サーバに対して ログイン操作を行います。

それでは以下に Azia'n Transfer/FTP を利用する場合の必要となる基本的なコマンドとその 意味を記述してみましょう。

#### リモートホストと接続する(必須)

OPEN host[port]

- host : (文字列 128 桁以内) 接続するリモートホスト名を指定する。ネットワークデータベースに該当ホストが登録済みであればホスト 識別名を指定することができる。
- port : (10 進数 5 桁以内 1~65534) 接続するリモートサーバのポート番号を指定する。

#### 動作環境設定コマンドによる相手ホスト大小文字変換指定(任意)

/SG SCHARMD=NO

YES:大小文字に変換して送信する(既定値)。

NO : 変換せずそのまま出力する

相手ホストで管理されているユーザ ID 等が大文字で登録されている場合には必ず指定する 必要があります。

#### リモートホストにログインする(必須)

USER username[password[account]]

username : リモート上で定義されている利用者名を指定する

password : 利用者名に対するパスワードを指定する。

Account :利用者名に対する課金単位名を指定する。

この他にも FTP クライアントでは様々なコマンドが用意されていますが、相手 FTP サーバが 特別な環境になっていない限り必要となるコマンドは上記 3 つとなります。

## POINT <Windows95上でのFTPサーバー機能を利用する>

## ☺ Windows95上でのFTPサ−バ−機能とは

PWS(Microsoft Personal Web Server version 1.0 for Windows95 マイクロソフト パーソナル Web サーバー) は、お使いの Windows 95 を個人的なウェブ用サーバーとしてホームページなどの公開を簡 単に行えるようにするソフトウェアです。インストールやその管理も簡単なため、PWS をお使いいただ くことでイントラネットやインターネットを使うすべてのユーザーが簡単に情報を共有することができま す。

HTTP や FTP プロトコルのファイル共有機能がサポートされているため、ピアツーピア ネットワークのような 手軽さで情報公開が可能です。なお、Microsoft Internet Information Server(IIS、マイクロ ソフト インターネット インフォメーション サーバー)と同じように、PWS はすべての ISAPI エクステンションや CGI スク リプトをサポートしていますが、Windows 95 のようなワークステーション向けに設計されているため、 IIS のようなフル機能をもったウェブ サーバーシステムのようなリソースを必要としないのも特長で す。

もし、ウェブ サーバー システムに将来的な拡張が必要でしたら、Windows NT Serverのようなパ ワフルでエンタープライズ仕様の、インターネット・イントラネット ウェブ サーバー製品をご利用ください。マイクロソフトは Windows NT上で全領域をカバーする製品群を提供しています。

Windows95 FTPサーバーはMicrosoftのホームページ上で無償ダウンロードすることがで きます。 http://www.microsoft.co.jp/win95/modules/ での最新モジュールご使用条 件をご確認ください。

# 3 基本操作

前章迄の環境設定を施すことにより Azia'n Transfer/FTP 機能を Azia'n Transfer/ETOS の受 動送受信要求を行うときと同じ運用で利用できるようになります。但し、Azia'n Transfer/FTP の場合にはVISオンラインの受動送受信画面は使いません。前章までに設定した FTP サーバ 専用の端末 ID に向けて、FTP を媒介とした転送要求を発行します。この章ではその一例として ACOS と PC との間で受信・送信例を「VIS画面指示による要求」,「バッチ指示による要求」 の 2 パターンをご紹介することにしましょう。

## 3.1 **VISオンライン指示による**Zia'n Transfer/FTP**受信**

VISオンライン画面の指示から Azia'n Transfer/FTP を転送媒介としたデータ受信を行っ てみましょう。受信の場合のVISオンライン画面とは Azia'n Transfer メニューの「受信/ 印刷対象ファイル検索&操作」のことを指します。この Azia'n Transfer/FTP 機能を利用する 場合にはこの画面の「処理実行端末」がキーとなります。

🗐 ETOS-J	X(acos4)						- 🗆 ×	
送信①	セッション(3) ファイル転送	E) 簡	19月2日	<u>K</u> ) 編集(E	) 表示([	9	/	   FTP 端末 ID を指定
マクロ(M)	オブション(0) ヘルプ(H)							
AX50A0*	受信/印刷対象ファイル	検索&	操作	百No.	1 97-04	20	17:35:54	
=>	17 THE REAL PROPERTY OF A DESCRIPTION OF A D	8 9		10 50000	/		57 M 46 MM	
0:表示 1,	[頁Na]:改頁 2:端末 3:詳	細 G:3	き信 P:F	P刷 B∶取消	<b>K</b> 削除	7:	説明 9:終了	
加入者:	KAIKATSU2 Azis	'n	Tra	nsfer	デモ加入る	¥.		
表示対象	<u>K (W:帳票ファイルのみ</u> X:データ	771100	み ム: 西	すども表示	(5			
		-						
●文1言/ 門。	刷要求時情報 → 処理美1	「「「「「「「」」		「「「「「「」」」を見ていていた。	~L		慢光度└	
		日田純	日本新	表小\/ [作成甘語]	电力集	P	1天 1段	
DATASHEET	Fazy Manager	719 1194	10	0116 1729	TANAKA	5	受信失敗!	
STSKAN	性能評価推移データ	<u> </u>	1	0310 1123	PCL001	5	<u>余田分</u>	
DATASHEET	Eazy Manager		26	0411 1104	Concernation:	5	末田方	
DATASHEET	Eazy Manager	88.0	26	0411 1105	PCL001	5	受信完了	
HS_FSIMF	請求書発行調整履歴	11	274	0414 1830	PCL001	5	受信完了	
TEST	テストデータ	18 9	17	0415 1429	PCL001	5	未出力	
				19 D				
	-					-		
		8 8		5	-	-		
-	1. 9	a 6		10-		-		
	6	12 1		8				
		12		<u> </u>		+		
		12 1						
表示すべき	データはこれで終わりです	0						
R 入力可	J TCP/IP						1	
ETOS-JX V	'er2.0		0	05,01)				

3.1.1 ACOSの業務データをAzia'n Transferへ登録する

A C O S の業務で利用しているデータをパソコンの表計算ソフトで利用するために一旦 Azia'n Transfer システムへ登録します。 Azia'n Transfer システムへのデータ登録には専用の J C L ("¥AZFSET")を利用して登録します。

公用ボリューム(PUBLIC)に "TEXTDATA" という名前で存在するファイルを入力にして加入 者 "KAIKATSU2"の ファイル "TEXTFILE" へ格納します。このときに登録するデータ形式がA COS内部形式データであるため、プラクインモジュール "AZTXCVAP"を利用してフォーマッ ト変換し、パソコン側の表計算ソフトで利用できる形式に変換したデータを登録します。

000010	¥AZFSET	INFILE=(TEXTDATA PUBLIC	)
000020		FLID=TEXTFILE	AKSCD=KATKATSU2
000030		ATRMID=PCL001	OPMD=N
000040		DSNM=/C6/BASE2.CSV	DV=C
000050		PLUGIN=AZTXCVAP	PLUGPRM=INPFORM
000060		PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=	CSV,FORMAT=SYSIN);
000070	¥INPUT	INPFORM;	
080000	(X,1,8,N'	1文字')(N,,5,N'2漢字')(	9, ,5,N' 3 数字')(S9, ,5,N' 4 数字')
000090	(X,,8,N'5	5文字')(N,,5,N'6漢字')(C	3, ,5,N' 7 数字' ) (C2, , ,N' 8 数字' )
000100	¥END I NPUT	•	

- Azia'n transfer システムへの登録用 JCL -

入力となるファイルのレイアウトは次のような形式です。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 登録処理により入力となるファイルィアウトイメージ-

¥AZFSET 及びプラグインモジュールの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

🖬 🖬 🕄 🖏 🖬 🖬 🖉	TOS-JX(accs4)
送信の セッシーンの ファイル転送り 筒易操作(2) 編集(9) 表示(2) マクロ(2) オラション(2) ヘルゴ(5)	送信(1) セッシンシー ファイル構造(1) 開影操作(1) 編集(1) 表示(1) マクロ(2) オナション(2) ヘルナ(1)
AISOMON 受信/印刷対象ファイル 検索を制作 - 百% 1 97-04-28 11:49:14 => 3	A350A0● ファイル明細情報検索&持作 97-00-20 11:52:10 ⇒>
0 表示 1, 1 両応1 改革 2. 結末 3: 詳細 4. 気管 7: 仲裁 8. 取結 3: 制除 7: 制明 8. 結了 加入者: 3210/13/22 A 2 3 6 加 Trensferぞも加入者 表示対策[] (7: 林素): (2003) 2: ? (3): (403) A 2: 両方とも表示) ) 7(4 1 5) ● 2(2): (405) (40	○ 表示 U 更新 7:印刷 G 受信 3:中断 K:和除 Y:各種鑑問 7. 体性 8. 動画面 9. 約了 時価値約5-1 <sup>*</sup> KAIKATSUBURGKY8 物理万分: L0 D>60 幅度D : T2XFFL8 テキストラッイル コメント : 死 先加入者: XAIKATSU2 A z i x <sup>*</sup> n T r x n x f = r デモ加入者 好 世話の ま verzeru A z i x a t m 電報一路
	ステレスホット (Article) ステレスホット (Article) (Articl
2015年1日 日本1977年1日本19年1日 1975年2月日日 1975年2月日日 1975年2月日日 1975年2月日日 1975年2月 1975年2月 1975年2月 1975年2月 1975年2月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975年3月 1975	75(467) : 通常チータ 月後続年 日 行数: 行間: 件 数 : 27 3*(代数: 2172 ?*予長: 80 ~ 84 3*(予約 □ (数定値=0) 頁3*(予数 □ (数定値=0) 編集 □ 0.5,7,8)) 州 力達の編集 [] (0.5,7,8)
1157 テストティタ 11 0415 (420)FLC001 5 未出力 11577 デストラッイル 31 0428 1109 2000169 独独美了 1257FILE テキストファイル 21 0428 1109 2000169 独独美了	●作成〈相前/ 22(音) 時間朝 榕樹時間 : 97/04/28 11:47:37 ~ 97/04/28 11:48:38 次~3次 : DOME 格的元情報 : 2000203 AZESET ● カーパール (Adde Jack Mar
	● 広方(48 広) 2016) 44 日前 出力時間 - 75 - 32 : 出力光情報 : 75 - 32 : 出力活件数 : ~
表示すべきデータはこれで終わりです。	●受信/印刷東京時指码 処理実行論末 要求頁 優先度 [(既定信-5)
к. (д.77 ч) (04664) ETCS-JX Ver20 (09.16) //	ETCS-JX V=20 (0501)

3.1.2 Azia'n Transfer/FTP を使ってテキストデータをパソコンに受信する

「Azia'n Transfer Menu」から受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面を表示してみまし ょう。「番号==>」にカーソルを合わせて"1"を入力し実行キーを押すと「受信/印刷対象ファ イル 検索&操作画面」が表示されます。次に「番号==>」に"G"と入力し、処理実行端末に前 章で登録したFTPサーバ端末のIDを入力します。続いて受信したいファイル明細にカーソルを位 置づけて実行キーを押すと「上記ファイル受信要求を発行しますか? Y/N」と聞いてきま すので、"Y"を入力すると受信要求の発行が行われます。要求発行後「御確認の上実行キーを 押してください。」というメッセージが表示されますので、指示に従い実行キーを押すと「受 信/印刷対象ファイル 検索&操作画面」に戻ります。

	/ FTP サーバ端末 ID		
1 ETOS-JX(accs4)		1 ETOS-JX((accs4)	
送信日 キー・・・ ファイル転送日 商易 マクロ図 オディョン(1) へんづ(1)	「新北の 編集(E) 表示(D)	送信日 センション ファイル転送日 特易技作(10 爆集(1) : マクロ(10 オデションの) へんけ(1)	表示(1)
▶ X35040● 受信/印刷対象サライル 検索を接付 →> C	€	AX30M0A ファイルの受信要求を発行しますか? 9	7-04-28 12:04:45
[0:表示 1, [面临]:改直 2: 瑞末 1:詳細 6:受告	7:甲酮 B:取消 X:削除 T:期期 9:核了	□:表示 6:受信開始指示 7:換作説明 8:前	國面 9:該了
MACS: MAINEDUC 表示は感[] ( 根葉: http:////// 大子は感[] ( 根葉: http:///// ) * ( ) D ● 学校/FROWERPHENT → REALTY * D · ( ● 学校/FROWERPHENT → REALTY * D · ( ● 学校/FROWERPHENT * REALTY * D · ( E · ( ) * (	A RATE		・デモ加入者 やも受信する) ましない ) 
表示すべきデータほこれで終わりです。 R 入力可 100744		処理実行鏡末 <u>2923年</u> 行鏡末 <u>2923年</u> <u>2923年</u> <u>1925年</u> 1925年 1935年 1	
ETOS-JX Ver2D	ໃນອຸາຣ 🦷	ETOS-JX V#20 (0001)	li

- 受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面 -

- ファイル受信要求画面 -

📜 ETOS-JX (acos4)					_ 🗆 ×
送信(1) セッション(	。) ファイル転送(	E) 簡易操作(K)	編集(E)	表示(D)	
マクロ( <u>M</u> ) オプション	10 ヘルプ(円)				
AX30AOE ファイルの	)受信要求を発行	しました。		97-04-28	13:47:02
=> In·表示 G·受	信題延指示	7.操作题时	8.	前面面	9·終了]
●ホスト側ファイル	情報	1.14(180)1			
発生源加入者 AZS	YSTEM	ZIAホスト側	業務一般		
ファイルID [TEX	TFILE 5	キストファイル			
加入者コード KAI	KATSU2	azia'n Ti	r an s f	e r デモ加	(大者)
受信範囲	@:未受信のデ	一切のみ受信する	A:受信済	、少も受信で	する)
	(Ⅰ:文信)承にす #8	5	N: 安信)脊(	はしない	2
● 喃木間 ノアイル 値 データセット名 ¥C6	¥IX ¥BASE TXT				5
デバイス C	(0~3:D0~D3	4~7:F0~F2 A	~Z:DRIVE	A∼Z)	
出力モード □	(0:置換 A:追	加 N:新規作成 C:	作成OR置扬	E:作成OR	追加)
データ長 ――	(出力モード=N,(	C,E時に作成ファイルの	カデータ長を	特定したい	時指定)
●受信時属性情報		596と線神公(狭1	すらになり	8.9)	
オプション					
処理実行端末 INTS	<u>VR1</u> (省略する	と当端末にて受信	します)		
77b2権ID					
御確認の上実行キーを	種して下さい。				
R 入力可 TCP/I	8				
ETOS-JX Ver2.0		(05,1	01)		11.

- 処理要求後確認画面 -

3.1.3 テキストデータ受信中の画面とその確認

テキストデータの監視は「受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作画面」から行います。表示 される状態は「受信要求中」 「受信中」というメッセージが表示され、受信処理が終了する と「受信完了」と表示されます。

TOS-JX(accs4)	TOS-JX(accol)
<ul> <li>■ EFOS-JX(accel)</li> <li>素活の Control 2アイル経営的 関島博行的 編集的 表示の マクロ図 オナションの へんづめ</li> <li>丸ちションの へんづめ</li> <li>支信/印刷対象ファイル 検索を抹作 再応 1 97-94-20 13:17:30</li> <li>■ (1 97-94-20 13:17:30 10)</li> <li>● (1 10)</li></ul>	
DataSherr         E x x y         M x n x g + r         25 Odii 1104         5 未出分           DataSherr         E x x y         M x n x g + r         25 Odii 1104         5 未出分           DataSherr         E x g y         M x n x g + r         25 Odii 1104         5 未出分           DataSherr         E x g y         M x n x g + r         25 Odii 1105         5 元 27           DataSherr         E x g y         M x n x g + r         25 Odii 1105         5 元 27           DataSherr         E x g y         M x n x g + r         26 Odii 1105         5 元 27           DataSherr         E x g y         M x n x g + r         26 Odii 1105         5 元 27           DataSherr         F x g x g x g + r         27 Odi5 1225         7 L 20         5 元 27           T2XTFILE         F # Z k Z + Z + Z + Z         27 Odi28 1145         7 S 300         16 27           DataSherr         E x Z + Z + Z + Z + Z + Z + Z + Z + Z + Z	DataSumer         E e z y         M e n e g e r         26         Data 1100         5         未出方           DataSumer         E e z y         M e n e g e r         26         Data 1100         5         天記方           De sign         T e e z y         M e n e g e r         26         Data 1105         FCLOU         5         天記方           De sign         T e Met A 1000         FCLOU         5         天記方         77         DataSumer         26         DataSumer         26         DataSumer         26         DataSumer         26         DataSumer         27         DataSumer
表示すべきテータはこれで認わりです。 R 入力可 (19201) ETOS-JX V-120 (0501)	表示すべ音データはこれで紹わりです。 R 入力可 (00501) ETOS-JX V=20 (0501) // // // // // // // // // // // // //

注意 実行キーを押すことにより状態が変化する様子が分かります。

3.1.4 受信した情報を表計算ソフトで開く

受信した情報を表計算ソフトで開いてみましょう。

1.BASE2.CSV を選択しダブルクリックする

🔯 ፤ካአንግ-ラ- C6								_ 🗆	×	
ファイル(Ĕ) 編集(Ĕ) 表	₩Ω	"?−₩D	^/レブ( <u>H</u> )`	$\backslash$						
C6		- €	. * *	) X 🖻	💼 🗠		<u> </u>	<b>*</b>		
すべてのフォルタ				見 1137:	<u></u>					
▲ デスクトップ ▲ 1963 BASEslk										
□										
📃 🗄 🖃 3.5インチ FD (A	9			a Base2.cs	$\overline{\mathbf{v}}$					
📄 😑 🗃 Ms=dos_6 (C:)	1		[							
	X M	crosoft Exc	el - Base2.cs	v						×
Dos	7	ァイル( <u>F</u> ) 編	集( <u>E</u> ) 表示(	∅ 挿入璽	書式(_) ツ	ール(工) データ	<ul><li>(D) ウィント・ウ</li></ul>	₩) ^1/7°( <u>H</u> )	_ 8	×
Etoswin	Bl	alol a	<b>⊡</b> } ≝∕  ¥		6	$\Sigma f_{x}   A  $	ZI 🔊 🚳	A	< <b>-</b>   0	
3 1個のオフジェクト					╶					Ë
+ Windown 21 71+			,•⁄ <u>▼</u>		R I D			• • 00 • 0		<u>  _</u>
;±)windows3.1 Cla		R1C1			-					_
プログラムの関連付けと	1	1	2	3	4	5	<u>6</u>	1000	1 000	•
	2	BBBBBBB	ູ່ພາຍາຍາຍາຍ  ເງເງເງເງ	2000	2 000	BBBBBBBB	ເປັນເປັນເປັນ ເປັນເປັນເປັນ	2000	2 000	
し C 払張于 CSV に	3	0000000	333333	3000	3,000	0000000	33333	3000	3,000	
EXCEL を関連付け	4	DDDDDDD	〕えええええ	4000	4,000	DDDDDDD	えええええ	4000	4,000	
	5	EEEEEEEE	おおおおお	5000	5,000	EEEEEEE	おおおおお	5000	5,000	
する必要がありま	7	FFFFFFF	かかかかかれ ききききき	7000	5,000	FFFFFFF	かかかかた	7000	7,000	-
<del>4</del>	8	нннннн	144444	8000	8,000	нннннн	<<<<	8000	8,000	
20	9		נונונונו	9000	9,000		לולולולו	9000	9,000	
	10									
	11	AAAAAAA	あああああ	i 1000	1,000	AAAAAAA	あああああ	1000	1,000	
	12	BBBBBBB	3000000	2000	2,000	BBBBBBB	33333	2000	2,000	
	मज	► NA BASE	2/	3000	3,000	11		3000		-
			-			승計=0		CAPS NUM		

# 3.2 **VISオンライン指示による**Zia'n Transfer/FTP送信

VISオンライン画面の指示から Azia'n Transfer/FTP を転送媒介としたデータ送信を行っ てみましょう。送信の場合のVISオンライン画面とは Azia'n Transfer メニューの「ファイ ルの送信」のことを指します。ここでも Azia'n Transfer/FTP 機能を利用する場合にはこの画 面の「処理実行端末」がキーとなります。

3.2.1 表計算ソフトで作成されたデータをテキスト形式で保存する 表計算ソフトで作成された情報をテキスト形式(CSV 又は TXT)に変更して保存します。



3.2.2 テキストデータをAzia'n Transfer/FTPを使ってACOSに送信する

「Azia'n Transfer Menu」からファイルの送信画面を表示してみましょう。「番号==>」に カーソルを合わせて"20"を入力し実行キーを押すと「ファイルの送信画面」が表示されます。 次に=>に"S"を入力し必要項目に値を入力した後、最後に「処理実行端末」にFTPサーバ端末の IDを入力し、Azia'n Transfer/FTP転送指示の宣言を行います。この状態で実行キーを押すと「上 記ファイルの送信要求を発行しますか? Y / N」を聞いてきますので"Y"を入力するとAzia'n Transfer/FTPによる送信が始まります。要求発行後「御確認の上実行キーを押してください。」 というメッセージが表示されますので、指示に従い実行キーを押すと「Azia'n Transfer Menu 画面」に戻ります。

/ FTP サーバ端末 ID	
TOS-JX(accs4)	ETOS-JX(accet)
送信ロ トー・・・ ファイル転送(19) 関東(19)11(1) 編集(19) 表示(10) マクロ(10) オナジョン(10) ヘルナ(11)	送信口 セッションシーファイル報送に 特易技術(10) 爆集(1) 表示(1) マクロ(10) オブション(2) ヘルブ(11)
123040 ファイルの送信をします 97-05-18 17.11:32	AX30M0A ファイルの送信要求を発行しますか? 97-05-18 17:14:58
-57 57: D:表示 5:法信型結指示 7:操作説明 8:前篇面 9:統7 ●ホスト限ファイル情報	] [0:表示 S:法信間論指示 7:操作説明 8:前編画 9:級了] ●ホスト間ブァイル情報
充先加入者         TATENTSU2         (当略時は既定水スト(防加入者となります)           ファイルID         TBX75712         (日本)	和先知人者 RAIXAISU ファイルID IENTELE テキストファイル
加入者コード 「ATRATEORS (当時時該当端末の所属加入者となります) 日本とし、	加入者コード BAIMATSUE Asis's Transferデモ加入者 コメント
●成末期ファイル情報 データセット名目C57868E C3V デバイフ F [0:0-4:0-4:0-49] A~2:08108A~2)	●第字用フタイル預置 データセット名 W258558 CSV デドイター 2 10~3 10~10 4~5 30~32 ~~5 10~32 ~~5 10~32 ~~5 10~10 ~ 5 10~10 ~ 5 10~10 ~~5 10~10 ~ 5 10~10 ~~5 10~10 ~
(建作交換) [3](3:有例)/(第し) ●き信時局性情報	線伸交換 図(1:有や)Ⅱ:服し) ●送信時層性情報
A7¥a≻	4794>
処理支持確決(野野阪)は賭すると当続末より送信します)	処理支持続末 [ <u>BTSV01</u> ] (当時すると当覧末よの送信します)
79 <b>6</b> 24 <b>8</b> 0	79b3#ato
ह रेमेर करक	上記ファイルの近信要求を発行しますか? Y/N
ETOS-JX V=(20 (0501)	ETOS-JX V#20 (0601)

- ファイルの送信画面 -

- 送信要求画面 -

📜 ETOS-JX (acc	os4)			_ 🗆 ×
送信① セッシ	ョン(g) ファイル転	[送(E) 簡易操作( <u>K</u> )	編集(E) 表示(D)	
マクロ( <u>M</u> ) オプ	ション(の) ヘルプ(	Ð		
AX30A0E ファー	イルの送信要求を発	行しました。	97-05-23	11:16:46
0:表示 :	S:送信開始指示	7: 操作説明	8:前画面	9:終了
●ホスト側ファ 宛先加入者 ファイルID	イル情報 KAIKATSU2 TEXTFILE	Azia'n Tr テキストファイル	ansferデモ加	1入者
加入者コード コメント	KAIKATSU2	Azia'n Tr	ansferデモ加	1入者
●端末側ファイ   データセット名   ゴバッコ	ル情報 ¥C6¥BASE.CSV	4- 5-70- 70 k- 7-D		
デバイス 媒体交換 ●送信時属性情 オプション	に100~3:00~03 NI(Y:有りN:無し 報	4~5:F0~F2 A~2:D ,)	KIVEA~2)	
処理実行端末	NTSVR1 (省略す	"ると当端末より送信し	ノます)	
79と2権ID 御確認の上実行4		`o		
ETOS-JX Ver2.0		(05,01	D	

- 処理要求後確認画面 -

3.2.3 テキストデータ送信中の画面とその確認

テキストデータの監視は「受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面」から行います。表示 される状態は「送信要求中」 「送信中」というメッセージが表示され、送信処理が終了する と「未出力」と表示されます。

🗐 ETOS-UX (acca 4) ETOS-UX (accu4) 空間の シントンシ ファイル転送回 部局論件的 編集画 表示の マクロル オプションの ヘルブル 送信で マジアンシ ファイル転送回 簡易操作<u>的</u> 偏要回 表示(1) マダロ(1) オブジョン(1) ヘルブ(1) K150AO+ 受信/印刷約録ファイル 後来を操作 => A050A0+ 受信/印刷対象ファイル 検索を操作 ₩No 1 97-05-23 11:55:45 〒No 1 97-05-23 11:55:14 ABODY 2019 FUNCTION 1997 (0) 表示 1. [西6]:彼信 2: 鏡末 2: 詳細 3: 笑信 P 円刷 B: 脱活 2: 前所 7: 説明 9: 終了) 加入者: 5. 私TEATSU2 As is n. Cysnsfeyデモ加入者 表示対象 <u>N 0: 無変か仲のみ</u> 3: デ<sup>(-</sup>サ): 外のみ Δ: 両方とも表示) 7: (1 D ● 全国/FWI層市時情報 → 処理実行端末 要求真 ~ \_ \_ \_ 優先度 ] ● 手属: アイルー覧 (田幸・にて未出力のものの参表示) 7: (1 D 名 将 用紙件 数 [円成目時 高力先 P 茶 酸 STSBAN 性能評価報源データ 1 0310 1123 7CL001 5 未造力 TEXTFILE 学卒ストファイル 0000 0000 5 逆信甲 表示すべきデータはこれで統わりです。 R 入力す でわれ 表示すべきデータはこれで統わりです。 R 入力す <mark>ではない</mark> ETOS-JX Ver20 (08,01) ETOS-JX Ver20 (08,01)

🗐 ETOS-U	(acca4)					1.1	
送信①	セッションション・ファイル転送	旧餐	湯操作	12. 編集店	) 表示()	2	
22000	オブションローヘルブ田						
K050AD+	受信/印刷対象ファイル	検索を	19	頁bia	1 97-05	-23 12	:OL:58
0: 表示 1,	[頁No]:改頁:2:編末 3:詳	編 0:3	信 ア 月	J刷 B: 取得	X:前期8	T:説明:	9:解了
加入者:	BAIKAISU2 A z i	t n	Tre	nsfer	デモ加入す		
支が引気	<u>8] QF: 賬票29(100) (9: 8: 7: 7)</u>	05(10)	外:( <b>ム:</b> )N	オとも表示	4)		
●型信/FP	帰要求時情報 → 処理実行	的编末	8	要求真	~	- IØ	先度〇
●対象ファ	+イルー覧(四キーにて来)	出力の利	ののみ	表示)			
77-(UID	<b>希</b> 林	用紙	件数	作成目時	出力先	P	18
SISBAN	11年紀1年16日本ノロ	-	1 07	0310 1123	remot	<u>日本日</u>	4
LEATELLE	TTALIZA	+	21	0623 1166		5 <b>7 E</b>	14
-		-					
		12.2		S - 5		2.2	
	1	-	<u> </u>				-
		+	<u> </u>			++	-
-		1		2 2			-
				S - 8			
-		+ -		3 - 2		14	-
		-					
100000000	CONCERNMENT OF CONCERNMENT		-	2. 2			-
表示すべき	データはこれで終わりです						
R 大力:	a <u>toexte</u>						
ETOS-JX V	/er2.0		0	08,01)			

注意 実行キーを押すことにより状態が変化する様子が分かります。

3.2.4 ACOSに送信・格納されたデータを取り出し業務で利用する

パソコン及び端末からACOSに送信・格納されたテキストデータをACOS業務処理で利用するために取り出してみましょう。Azia'n Transfer システムからのデータ取り出しには専用のJCL("¥AZFGET")を利用して取り出します。

加入者 "KAIKATSU2" に登録されている ファイル "TEXTFILE" を取り出し、公用ボリューム (PUBLIC)に "TEXTDATA" という名前で出力します。このときに取り出すデータ形式が区切り文 字付きテキストデータであるため、プラグインモジュール "AZTXCVPA" を利用してフォーマット変換し、 業務処理で利用できる形式に変換したデータを出力します。

このように Azia'n Transfer/FTP を利用した場合でも抽出の段階では ETOS で送信した場合の 抽出法方と変わらないことがわかります

000010	¥AZFGET	OUTFILE=(TEXTDATA	PUBLIC SIZE=1)	
000020		FLID=TEXTFILE	AKSCD=KATKATSU2	
000030		PLUGIN=AZTXCVPA	PLUGPRM=INPFORM	
000040		PLUGOPT=(KANJI=KIK	(O,SEP=CSV,FORMAT=SYSIN)	•
000050	¥INPUT	INPFORM;		
000060	(X,1,8,N'	1文字')(N,,5,N'2%	嫨字')(9,,5,N' 3 数字')	
000070	(S9,,5,N'	4数字')(X,,8,N'55	文字')(N,,5,N'6漢字')	
000080	(C3,,5,N'	7 数字')(C2,,5,N' 8	数字')	
000090	¥END I NPUT	,		

- Azia'n transfer システムからの取り出し用 JCL -

出力されるファイルのレイアウトは次のような形式で出力されま	「アウトは次のような形式で出力されます。
-------------------------------	----------------------

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 取り出し処理により作成されるファイルレイアウトイメージ-

¥AZFGET 及びプラグインモジュールの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

「受信/印刷対象ファイル 検索&操作画面」では状態が未出力から抽出完了へと変化します。

#### 3.3 **バッチ指示による**Azia'n Transfer/FTP**受信**

バッチ処理の指示から Azia'n Transfer/FTP を転送媒介としたデータ受信を行ってみましょう。バッチ処理から指示する場合、VISオンラインとは全く独立して動作します。このため VISオンライン業務が停止している状態でもACOSからデータをPCに送り込むことがで きます。

但し、転送状況の確認を行う場合にはVISオンライン業務が必要になります。

3.3.1 バッチ処理からからAzia'n Transfer/FTP転送指示と受信を行う

ACOSの業務で利用しているデータをパソコンの表計算ソフトで利用するために一旦 Azia'n Transfer システムへ登録し、続いてPCへの受信を行います。 Azia'n Transfer/FTP システムでの格納・受信には専用のJCL("¥AZFSET")を利用して登録します。

公用ボリューム(PUBLIC)に "TEXTDATA" という名前で存在するファイルを入力にして加入 者 "KAIKATSU2" の ファイル "TEXTFILE" へ格納します。このときに登録するデータ形式がA COS内部形式データであるため、プラクインモジュール "AZTXCVAP" を利用してフォーマッ ト変換し、パソコン側の表計算ソフトで利用できる形式に変換したデータを登録します。格納 完了後は受信処理が開始されます。

000010	¥AZFSET INFILE=(TEXTDATA PUBLIC ) <u>OUTREQ=YES</u>	
000020	FLID=TEXTFILE AKSCD=KAIKATSU	2
000030	ATRMID=NTSVR1 OPMD=N	
000040	DSNM=/C6/BASE2.CSV DV=C	
000050	PLUGIN=AZTXCVAP PLUGPRM=INPFOR	M
000060	PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=CSV,FORMAT=SYSI	N);
000070	¥INPUT INPFORM;	
080000	(X,1,8,N'1文字')(N,,5,N'2漢字')(9,,5,N'3数字')	(S9,,5,N'4数字')
000090	(X,,8,N'5文字')(N,,5,N'6漢字')(C3,,5,N'7数字')	(C2,,,N' 8 数字')
000100	¥ENDINPUT;	

- Azia'n transfer/FTP 受信処理実行 JCL -

入力となるファイルのレイアウトは次のような形式です。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 登録処理により入力となるファイルレイアウトイメージ-

ここで Azia'n Transfer/FTP 受信を使う場合のポイントは「配信先端末 ID(ATRMID)」と「配 信要求指示(OUTREQ=YES)」です。配信先端末 ID に FTP サーバ 端末 ID を記述することにより FTP 転送指示であることが宣言され、配信要求指示で Azia'n Transfer システム格納後自動的に受 信処理が開始されます。 ¥AZFSET 及びプラグインモジュールの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

#### 3.4 **バッチ指示による**Azia'n Transfer/FTP送信

バッチ処理の指示から Azia'n Transfer/FTP を転送媒介としたデータ送信を行ってみましょう。バッチ処理から指示する場合、VISオンラインとは全く独立して動作します。このため VISオンライン業務が停止している状態でもACOSからデータをPCに送り込むことがで きます。

但し、転送状況の確認を行う場合にはVISオンライン業務が必要になります。

3.4.1 バッチ処理からAzia'n Transfer/FTP転送指示と送信を行う

パソコン及び端末に格納されているデータに対してACOS側指示によりACOSに送 信・格納します。更にテキストデータをACOS業務処理で利用するために取り出してみまし ょう。Azia'n Transfer/FTP システムから送信・格納要求する場合には専用のJCL("¥AZRECV"), データ取り出しには専用のJCL("¥AZFGET")を利用して取り出します。

端末に格納されているテキストファイルをホストへの送信要求を発行し、加入 者 "KAIKATSU2" に登録します。次に加入者 "KAIKATSU2" に登録されているファイル "TEXTFILE" を取り出し、公用ボリューム(PUBLIC)に "TEXTDATA" という名前で出力します。このときに取 り出すデータ形式が区切り文字付きテキストデータであるため、プラグインモジュール "AZTXCVPA"を 利用してフォーマット変換し、業務処理で利用できる形式に変換したデータを出力します。

このように Azia'n Transfer / FTP を利用した場合でも抽出の段階では ETOS で送信した場合の 抽出法方と変わらないことがわかります

000010	¥AZRECV	WAIT=YES	
000020		FLID=TEXTFILE	AKSCD=KA1KATSU2
000030		HKSCD=KAIKATSU2	RTRMID=NTSVR1
000040		DSNM=/C6/BASE2.CSV	DV=C;
000010	¥AZFGET	OUTFILE=(TEXTDATA PUBLIC	SIZE=1)
000020		FLID=TEXTFILE	AKSCD=KATKATSU2
000030		PLUGIN=AZTXCVPA	PLUGPRM=INPFORM
000040		PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=0	CSV,FORMAT=SYSIN);
000050	¥INPUT	INPFORM;	
000060	(X,1,8,N'	1文字')(N,,5,N'2漢字')(9	9,,5,N'3数字')
000070	(S9,,5,N'	4 数字')(X,,8,N'5 文字')(1	N,,5,N'6漢字')
000080	(C3,,5,N'	7 数字')(C2,,5,N' 8 数字')	
000090	¥END I NPUT	•	

- Azia'n transfer システムからの取り出し用 JCL -

出力されるファイルのレイアウトは次のような形式で出力されます。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 取り出し処理により作成されるファイルレイアウトイメージ-

ここで Azia'n Transfer/FTP 送信を使う場合のポイントは「集信元端末 ID(RTRMID)」と「集 信処理完了待ち(WAIT=YES)」です。集信元端末 ID に FTP サーバ端末 ID を記述することにより FTP 転送指示であることが宣言され、Azia'n Transfer システムへの送信処理が開始されます。

また、「集信処理完了待ち(WAIT=YES)」を記述することにより¥AZRECVの完了後、後に続く ¥AZFGETに即処理が移らないように待ち合わせ制御が行われます。

¥AZRECV,¥AZFGET 及びプラグインモジュールの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

# 4 最後に

最後に Azia'n Transfer/FTP 機能では転送状況を把握するため、VISオンライン画面のほか にFTP クライアント機能(コマンド)の1つである verbose モードをONにしてプロトコルメ ッセージ,統計情報,発行コマンド,転送履歴ファイルなどを出力しています。環境設定上の不 具合により転送が失敗する場合にはこのステータスファイルを参照して原因を調査して下さい。 それでは以下にステータスファイルの作成規則を記述します。

ステータスファイル

ステータスファイルは¥AZFSET,¥AZFGET を実行すると Azia'n Transfer/FTP システム側で自 動起動される FTP クライアントジョブで作成されるファイルです。

FTPクライアントジョブ: JAZ<u>1</u>FTPC<u>1</u>

∨ I Sオカレンス マルチジョブSEQ

~ ~ _ S T S	:	プロトコルメッセージ
~ ~C M D	:	発行コマンド
~ ~ _ P R T	:	統計情報
~ ~ _ T R N F	:	転送履歴ファイル

~~は端末ID又はFTPクライアントジョブ名で作成されます。

ステータスファイルの格納ライブラリ,命名規則はシステムセットアップ時に決めておりますの で必要な場合には弊社担当SEまでご連絡下さい。